

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 公共施設水洗化事業
-------------------	------------------------

区分	番号	名 称						
章	2	自然とともに暮らすまち						
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる						
施策	3	生活排水の適正な処理						
小分類	1	下水道の普及拡大と処理施設の適正な管理						
主要な施策	1	下水道事業の促進						
事務事業番号	003	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4b084;">事務事業コード</td> <td>21311003</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業開始年度</td> <td>平成 2 年度</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	21311003	事業開始年度	平成 2 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	21311003	事業開始年度	平成 2 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	公共施設水洗化事業費
------	------	------------	------------

部 名	総務部	グループ名	政策推進室財政 G
-----	-----	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 快適な生活環境づくり及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資することを目的とする。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 下水道計画区域内の公共施設(教育委員会・都市整備部所管施設を除く)については下水道への接続、区域外は浄化槽による水洗化を行う。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 快適な生活環境づくりの一環として、公共施設の水洗化事業を実施し、環境衛生に向上と下水道の普及促進を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 下水道法・都市計画法・下水道条例

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標		下水道供用開始区域にある公共施設の水洗化実施箇所	箇所	目標値	2	1	0	1
				実績値	2			
				目標値				
				実績値				

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称 地域活性化・きめ細かな臨時交付金	千円	999					0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円	1,500	2,300	0	4,000	2,600	6,600
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	0	1,200	0	1,500	900	2,400
合 計			2,499	3,500	0	5,500	3,500	9,000
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	0	0			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		0	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市有財産の水洗化であることから、市が実施することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 下水道法に基づく下水道整備区域内にある公共施設は平成25年度でほぼ完了する予定である。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 公共施設の水洗化事業は、供用開始にあわせた整備となるため、供用開始区域の拡大に左右される。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 1施設にかかる工事の設計積算については、大小問わず同じなので、人工や所要時間のコストは削減できない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本事業は、環境衛生の向上と下水道の普及促進を図る目的であり、事業を維持する必要がある。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）